

### ■特長

- ・従来の弱溶剤2液型ウレタン塗料に比べ耐候性、耐久性、および低汚染性を発揮します。
- ・塗料用シンナーで希釈可能なため、旧塗膜を侵しにくく幅広い用途に使用できます。
- ・従来の弱溶剤型塗料のような独特の臭気がなく、マイルドなおいんです。
- ・鉛・クロムなどの有害な重金属を原料として配合せず、環境にやさしい塗料です。
- ・藻やカビの発生を抑制し、清潔な住環境を維持します。

### ■被塗物素材

- ・住宅用化粧スレート（各種新屋根材）、スレート瓦、セメント瓦  
（弱溶剤型シーラーまたはロック水性プロテクトルーフ サフ使用）
- ・金属製屋根、トタン屋根（変性エポキシ系プライマーを使用）  
※陶器瓦、アスファルトシングル材には塗装できません。  
乾式コンクリート瓦（モニエル瓦、スカンジア瓦など）の場合はお問い合わせください。

### ■製品要綱

種類・色	常備色（20色）及び各色
主な用途	戸建住宅、工場・倉庫など屋根面の新設及び塗り替え
容量	主剤 13.5kg、硬化剤 1.5kg
配合比	主剤：硬化剤 = 9：1
標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	0.11~0.13
標準塗布面積(m <sup>2</sup> /15kgセット・回)	115~135
希釈剤	塗料用シンナー
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー
	エアレス
標準塗装回数	2
可使時間	(5℃) 18時間 (23℃) 7時間 (30℃) 4時間
指触乾燥時間	(5℃) 50分 (23℃) 25分 (30℃) 15分
塗り重ね可能時間	(5℃) 4時間以上 (23℃) 2時間以上 (30℃) 1.5時間以上
光沢	つや有り
特化則該当物質	主剤：エチルベンゼン 硬化剤：該当物質なし
有機溶剤表示	主剤：第2種有機溶剤等（銀黒A、銀黒B、銀黒C）、 第3種有機溶剤等（上記以外の常備色） 硬化剤：第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	主剤：第4類 第二石油類（非水溶性） 硬化剤：第4類 第二石油類（非水溶性）
材工価格（2022年10月現在）	¥2,050.-/m <sup>2</sup> （当該製品のみ・300m <sup>2</sup> 以上）

### ■使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・新屋根材などで軽度の不陸がある場合は、下地調整材としてロック水性プロテクトルーフ サフを使用してください。
- ・素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また直射日光などで極端に熱くなっている時は、少し冷やしてから塗装してください。
- ・乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、時間を考慮して塗装を行ってください。
- ・鉄、非鉄金属部に塗装する場合は、必ず下塗りに適性のあるサビ止めペイントを塗装してください。
- ・希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- ・塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

Copyright © 2022 ROCK PAINT All Rights Reserved.

2022.10